

名古屋港のここがポイント! 6



ぼうさいしせつ 名古屋港の防災施設



たかしおぼうはてい 高潮防波堤

伊勢湾台風の高潮被害の教訓から、昭和39年に知多市から弥富市まで、高さ6.5m、長さ7.6kmの堤防がつけられました。



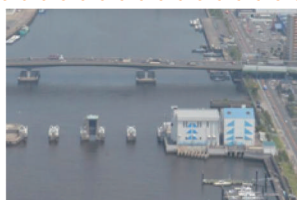
ぼうちようへき ぼうちようとびら 防潮壁・防潮扉

高潮が市街地へ流入することを防ぐため、総延長26.4kmの防潮壁が港を囲んでいます。また、人や車が通行するところに防潮扉が設置されており、高潮発生時には閉鎖して、高潮の侵入を防ぎます。



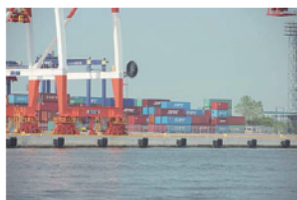
なかがわくち 中川口ポンプ所

中川口ポンプ所は、運河に流入する雨水を必要に応じて海側に排水することで、市街地の冠水を防ぐ役割を果たしています。



ほりかわくち 堀川口防潮水門

堀川の河口にある水門で、台風時の高潮や大潮、異常潮位などで海面水位が大きく上昇した時に水門を閉め市街地への浸水を防ぎます。



たいしん がんべき 耐震強化岸壁

災害の時に人や物を海から運ぶため、地震に強い耐震強化岸壁が整備されています。大江ふ頭、潮凧ふ頭、飛島ふ頭南側コンテナターミナル、鍋田ふ頭コンテナターミナルに、全部で7バースが整備されています。



きき 危機管理室

名古屋港では、24時間365日職員が当直で対応し、災害に備えています。



防災保安訓練

名古屋港では台風や地震などの災害や、テロ行為などに備えて、定期的に訓練をおこなっています。

みなとには、みんなの
くらしを安全に守る
役割もあるんだよ!



名古屋海洋博物館
NAGOYA MARITIME MUSEUM